

ユニオンファンド 月次レポート

第 214 号

追加型投信 / 内外 / 株式 分配金再投資専用ファンド

2026 年 9 月 4 日作成

MONTHLY TOPIC

「相場がうまい人」が投資で成果を上げるとは限らない

前回のこのレポートでは、「安くなったら買う」のはよいとしても、「安くなるまで買わない」のは必ずしも得策ではない、という話を書きました。そして、投資のリターンとは、相場を当てて下落を避けたことへのご褒美というより、下落を耐え抜き持ち続けたことへのご褒美なのではないか、とも申し上げました。今回は、それに関連する若い頃の経験をお話ししてみたいと思います。

「相場がうまい人」たちの嘆息

バブル相場真っ盛りの 80 年代半ばから後半にかけて、次々に投資信託が作られ、運用担当者が不足しました。「とにかく人を増やすしかない」ということで、全国の営業店などから支店長経験者や営業成績のよい人など、「腕に覚えがある」社員が運用部門に集められました。彼らはすぐに運用を始めましたが、しばらくすると嘆息を漏らすようになりました。「10 銘柄買えば、ほとんど全部儲かって売っている。それなのに、何も知らない若手に基準価額ではどうしても勝てない。なぜなんだ」というのです。

彼らは銘柄選定とタイミング判断の能力に優れており、営業店では短期の売買で利益を上げ、お客様に喜んでいただいていたようです。お客様もまた、時間をかけずにササッと儲けたい人が少なくなかったと記憶しています。しかし、運用で求められるのは、それとは少し方向の違う能力でした。買った銘柄が上がってもすぐには売らず、その先の大きな上昇を待つ力です。若手は先輩たちに比べ株式の知識が限られていますし、はたから見れば「ぼーっ」と持っているだけだったでしょう。しかし結果として、何もしないことが強みになっていたのです。一回一回の売買では先輩に勝てなくても、資産を増やすことでは勝っている。そんなことが実際に起こっていたのです。

投資で大切なのは「勝率」ではない

この経験から、私は「売買がうまいこと」と「投資がうまいこと」は同じではない、と思うようになりました。売買のたびに利益を出すのは確かに立派です。しかし、利益が出るたびに売ってしまい、その後の大きな上昇を取り逃していたら、資産はなかなか増えません。反対に、買った後に多少の下落があっても慌てて売らずに持ち続け、時間がかかっても資産の拡大を待つ。こちらの方がずっと大きな成果につながることがあります。

前回、「相場の先行きを当てることよりも、多少の損を覚悟してでも買って持ち続けることが大切」と書きましたが、これは単なる理想論でも気休めでもないと思います。実際、「相場がうまい」はずの人たちが、素人同然の若手に勝てなかったのです。相場の先行きを当てようとすることや、売買の「うまさ」に磨きをかけることよりも、時間を味方につけて資産を育てるゆったりした投資をこれからも続けていただければ幸いです。

久保田徹郎

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

UNION FUND REPORT

ユニオンファンド運用状況

(2026 年 8 月末現在)

基準価額

50,237 円

純資産総額

188 億 16 百万円

期間別騰落率(%)

1 ヶ月 2.65%

1 年 22.56%

3 年 44.40%

5 年 65.37%

10 年 155.15%

設定来 402.37%

複利年率(%)

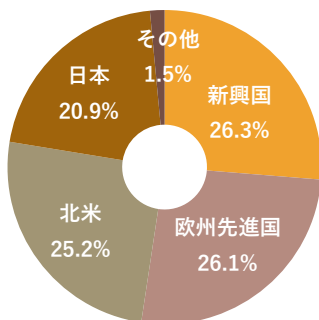
9.45%

* 騰落率は過去の実績値であって、将来の成績を約束するものではなく、また受益者ごとの購入時期によって異なります。

* 「複利年率」は、設定日から基準日までの騰落率を年率（複利）で表したものです。

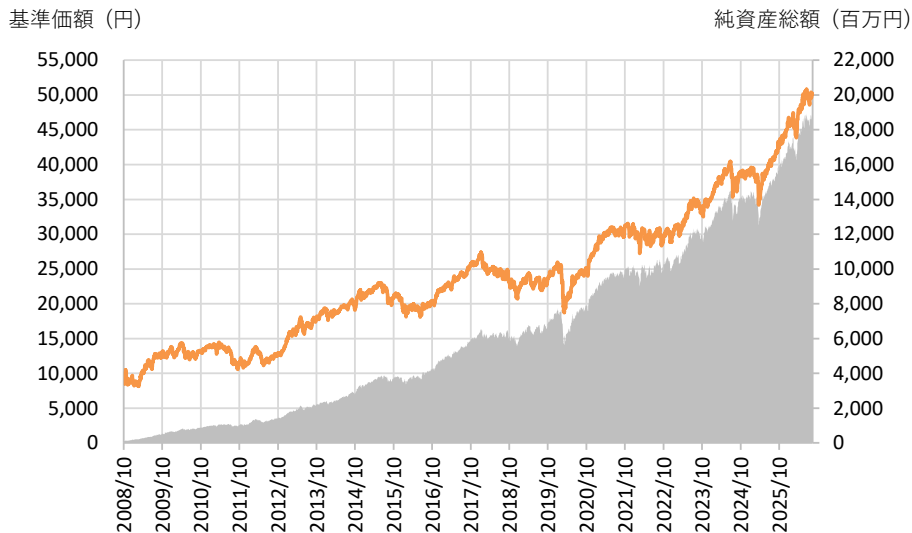
* 設定来、分配の実績はありません。

地域別構成比



投資部分(現金等を除く)に占める比率
(2026 年 7 月末現在)

基準価額と純資産総額の推移（設定来、分配の実績はありません。）



組入ファンドの内訳

ファンド名	主な地域	組入比率(%)	月間騰落率(%)※
さわかみ F	日本	4.5%	1.7%
スパークス F	日本	13.4%	3.0%
キャピタル F	欧米	21.0%	2.8%
ハリス F	欧米	19.1%	1.5%
コムジェスト・ヨーロッパ F	欧州	9.1%	1.8%
コムジェスト・エマージング F	新興国	21.8%	5.6%
現金等	-	11.0%	-

※ 騰落率はユニオンファンドの基準価額に反映する日付で計算

ファンドの特長

- ① 長期で「債券」の収益率を上回るとされる「株式」に投資します
- ② 世界の経済成長を享受するため、「グローバル」な視点で投資します
- ③ 専門性の高い複数ファンドに投資する「ファンド・オブ・ファンズ」で運用します
- ④ 実績のある資産運用会社の「アクティブ」ファンドに投資します
- ⑤ 株価が割高と思われるときには現金比率を高め、割安局面での買い増しに備えます

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

UNION FUND REPORT

2026 年 8 月の市場動向と運用状況

投資環境

8 月の世界株式市場は、中東情勢やインフレへの警戒感、長期金利の上昇などから神経質な動きを見せる場面もありましたが、企業業績の順調な拡大を背景に、おおむね上昇しました。

米国では、ウォーシュ FRB 議長のインフレ押さえ込み姿勢が後退したとの見方からインフレ再燃懸念が広がり、弱含みのスタートとなりました。ただ、雇用統計が悪化したことや、6 月以降の原油価格反落によりインフレ指標が低下傾向となったことから、利上げ懸念は後退し、株価を支えました。また、半導体企業を中心に好業績が続いていることが改めて好感され、米国ダウ平均、S&P500 は高値を更新する場面がありました。

新興国株は、急反落していた半導体株が反発したことから、韓国と台湾の市場がけん引し、全体としては好調に推移しました。欧州株は原油や天然ガスの価格が下げ止まりから上昇に転じたことを嫌気し、他の地域に劣後しました。日本株は、円高が一時的かつ小幅にとどまったことで輸出関連企業の業績不安が薄れ、堅調でした。

為替市場では前月末の日米協調介入で一時ドル安円高となりましたが、日米金利差の大きさなどからドル高基調に戻りました。

運用の状況

ユニオンファンドはほぼ市場並みの上昇となりました。前月、大幅に値下がりしたコムジェスト EM F の回復が寄与しました。売買は見送りました。月末の組入比率は 89.0%と、前月からわずかに上昇しました。

今後の見通し

当面の世界の株価は、中東情勢・原油市況と、AI・半導体企業の業績動向という二つの大きな変動要因に左右される展開が続くそうです。原油価格については、一時に比べると大幅高のリスクは低下したかもしれませんが、紅海からスエズ運河経由で地中海に輸送したり、ホルムズ海峡の外側の港湾まで原油を陸上輸送したりと、代替ルートの利用が拡大している模様です。中東湾岸諸国は自国の港からホルムズ海峡の外側までを往復する「シャトル船団」での輸送を積極化しました。中東以外での原油の増産や在庫放出などを合わせると、世界需要をある程度カバーできつつあるとの試算や見方もあります。ただ、8 月末から米国がイランへの攻撃姿勢を強めたことで、ホルムズ海峡の通航は再び完全に停止しかねない状況であり、インフレ再燃要因として中東情勢は引き続き注視が必要です。

企業業績については、主に AI 投資の大幅拡大を背景に総じて好調に推移する可能性が大きいと見ています。ただ、注意点もあります。企業業績の好調を株価が織り込んでしまったら、それ以上の上昇は期待できなくなりますし、この好調がいつまで続くか正確に予想することは困難です。AI 投資を進めている企業には、増大するコストを売上で本当に回収できるのか、という疑問が相変わらず付きまとっています。もし回収困難と見て投資額を減らすようなことがあれば、半導体など関連企業の業績見通しにも影響するでしょう。

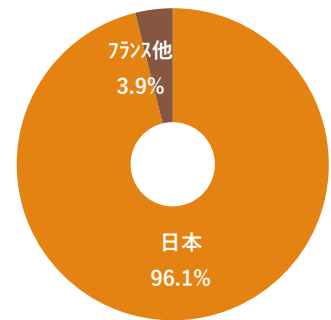
このほか、長期金利の推移、11 月の米国中間選挙、攻撃が激化しつつあるロシアとウクライナの戦争、穀物市況の上昇傾向、不安定な為替市場など、不透明要因は多々あります。このため、今後も短期的に市場が混乱することはありえますが、変動に振り回されることなく、引き続き冷静に対応していきたいと考えています。

運用責任者 久保田徹郎

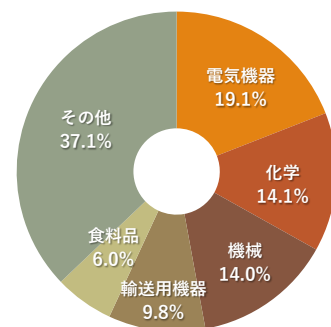
◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

さわかみファンド

基準価額の推移

国別構成比

組入銘柄トップ10

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 信越化学工業	3.7%	日本	化学	塩ビ・シリコンエー世界大手
2 ソニーグループ	3.0%	日本	電気機器	ゲーム・音楽・映画・電子機器等
3 スズキ	2.7%	日本	輸送用機器	自動車、自動二輪車
4 INPEX	2.6%	日本	鉱業	石油・天然ガス開発
5 ディスコ	2.6%	日本	機械	半導体等の切削・研磨装置
6 日立製作所	2.0%	日本	電気機器	総合電機世界大手
7 セブン&アイHD	2.0%	日本	小売業	大手総合小売業
8 トヨタ自動車	2.0%	日本	輸送用機器	自動車世界大手
9 浜松ホトニクス	2.0%	日本	電気機器	光検出器の世界的企業
10 ダイキン工業	1.9%	日本	機械	エアコン世界大手
上位10銘柄	24.5%		現金等	17.7%

業種別構成比


※ 業種：東証33業種、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2026年8月末現在>

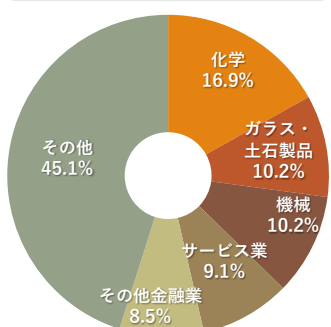
スパークスF（スパークス・集中投資・日本株ファンドS）

基準価額の推移

国別構成比(マザーファンド)

組入銘柄トップ10（マザーファンド） ※組入比率の記載はなし。証券コード順。

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
エムアップホールディングス		日本	情報・通信業	ファンサイト運営、チケット販売
上村工業		日本	化学	メッキ用化学品大手
メック		日本	化学	電子基板用薬品
横浜ゴム		日本	ゴム製品	大手タイヤメーカー
MARUWA		日本	ガラス・土石製品	セメント基板世界トップ
マックス		日本	機械	鉄筋結束機、スケーラー
プレミアグループ		日本	その他金融業	オートクレジット、故障保証
SHOEI		日本	その他製品	高級ヘルメット
SBIホールディングス		日本	証券・商品先物取引業	金融持ち株会社
トーセイ		日本	不動産業	不動産流動化・開発・賃貸等
現金等				4.0%

業種別構成比(マザーファンド)


※ 業種：東証33業種、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2026年7月末現在>

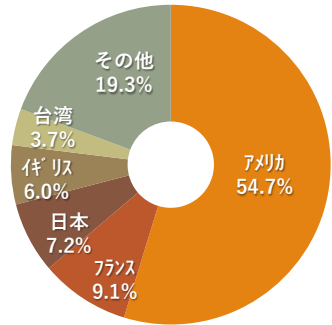
◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

キャピタルF (キャピタル・グループ・グローバル・エクイティ・ファンド(LUX)クラスZ)

基準価額の推移



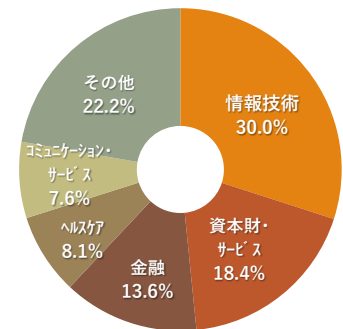
国別構成比



組入銘柄トップ10

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 Alphabet	5.0%	アメリカ	コミュニケーション・サービス	グーグルの持株会社
2 Broadcom	4.5%	アメリカ	情報技術	無線・通信向け半導体等
3 TSMC	3.6%	台湾	情報技術	半導体メーカー
4 Microsoft	3.5%	アメリカ	情報技術	世界最大のコンピュータ・ソフト
5 Apple	3.1%	アメリカ	情報技術	デジタル機器・ソフト大手
6 ASML	2.5%	オランダ	情報技術	半導体製造装置メーカー
7 JPMorgan Chase	2.2%	アメリカ	金融	世界大手総合金融グループ
8 SK hynix	2.2%	韓国	情報技術	半導体メーカー
9 General Electric	2.1%	アメリカ	資本財・サービス	航空機エンジン
10 NVIDIA	2.1%	アメリカ	情報技術	AIコンピューティング 最大手
上位10銘柄	30.8%	現金等	2.8%	

業種別構成比



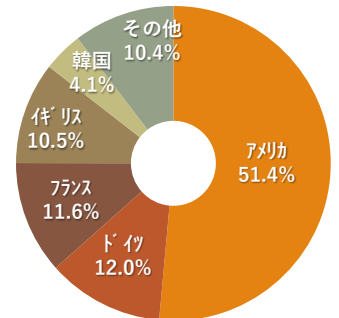
※ 業種：MSCI世界産業分類基準の11セクター、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2026年7月末現在>

ハリスF (ALAMCOハリス グローバルバリュー株ファンド2007)

基準価額（分配金込み）の推移



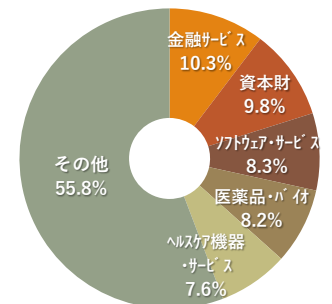
国別構成比(マザーファンド)



組入銘柄トップ10 (マザーファンド)

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 BNPパリバ	3.8%	フランス	銀行	フランス大手銀行
2 アイキューヴィア	3.7%	アメリカ	医薬品・バイオ	薬品会社向け臨床研究・試験等
3 エアビーアンドビー	3.3%	アメリカ	消費者サービス	民泊仲介サイト
4 アディダス	2.9%	ドイツ	耐久消費財・アパレル	スポーツウェア世界大手
5 ウィリス・タワーズ・ワトソン	2.9%	イギリス	保険	リスク助言、保険仲介、コンサル
6 セールスフォース	2.8%	アメリカ	ソフトウェア・サービス	クラウド型営業支援・顧客管理
7 シスコ	2.7%	アメリカ	生活必需品流通・小売り	大手食品流通会社
8 サンベルト・レンタルズ	2.7%	アメリカ	資本財	建設・工業・一般機器のレンタル
9 DSV	2.7%	デンマーク	運輸	世界大手物流会社
10 バイエル	2.6%	ドイツ	医薬品・バイオ	大手化学医薬品メーカー
上位10銘柄	29.9%	現金等	3.7%	

業種別構成比(マザーファンド)

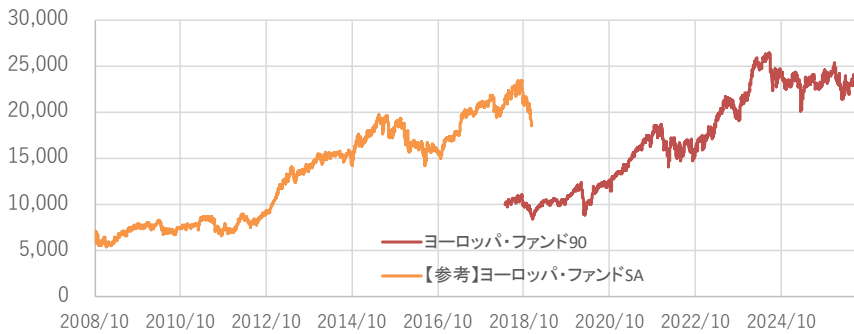


※ 業種：MSCI世界産業分類基準の25産業グループ、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2026年7月末現在>

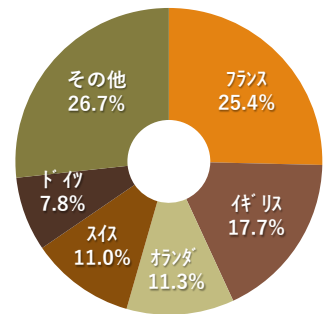
◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

コムジェスト・ヨーロッパF (コムジェスト・ヨーロッパ・ファンド 90)

基準価額の推移



国別構成比(マザーファンド)



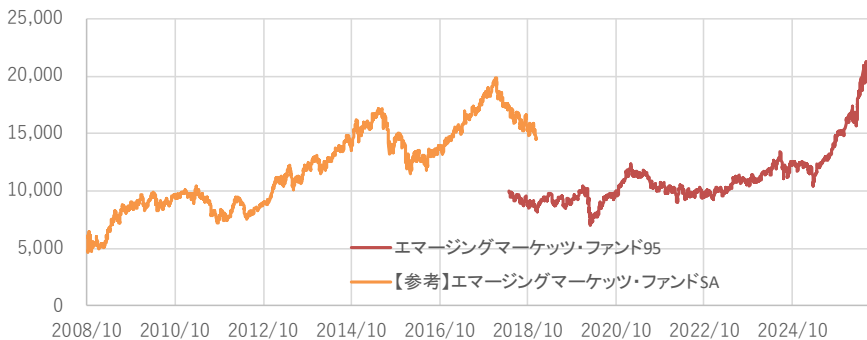
組入銘柄トップ10 (マザーファンド)

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 ASML	6.3%	オランダ	情報技術	半導体製造装置メーカー
2 SCHNEIDER ELECTRIC	5.1%	フランス	資本財・サービス	電気設備、エネルギー管理
3 NOVONIS	4.9%	デンマーク	素材	食品用酵素・微生物等
4 AIR LIQUIDE	4.7%	フランス	素材	産業ガス世界大手
5 ESSILORLUXOTTICA	3.8%	フランス	ヘルスケア	光学製品
6 ASM INTERNATIONAL	3.6%	オランダ	情報技術	半導体製造装置メーカー
7 COMPASS GROUP	3.5%	イギリス	一般消費財・サービス	食品サービス
8 AON	3.3%	アメリカ	金融	保険・再保険等
9 LONZA	3.2%	スイス	ヘルスケア	医薬品・バイオ
10 KINGSPAN	3.1%	アイルランド	資本財・サービス	高性能断熱材、建物外装
上位10銘柄	41.7%	現金等	1.0%	

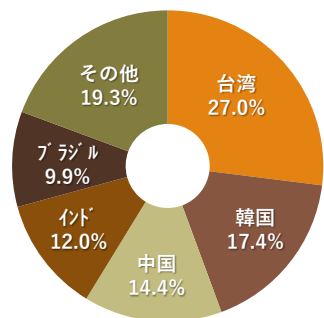
※ 業種：MSCI世界産業分類基準の11セクター、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2026年8月末現在>

コムジェスト・エマージングF (コムジェスト・エマージングマーケット・ファンド 95)

基準価額の推移



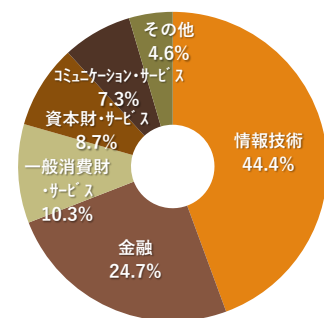
国別構成比(マザーファンド)



組入銘柄トップ10 (マザーファンド)

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 TSMC ADR	9.2%	台湾	情報技術	半導体メーカー
2 SK HYNIX	8.4%	韓国	情報技術	半導体メーカー
3 SAMSUNG ELECTRONICS	8.0%	韓国	情報技術	家電・電子部品大手
4 DELTA ELECTRONICS	6.9%	台湾	情報技術	電源、変圧器
5 ASPEED	5.6%	台湾	情報技術	半導体の設計・開発
6 TENCENT	4.4%	中国	コミュニケーション・サービス	ソーシャルネットワーク等
7 CONTEMPORARY AMPEREX TECH	3.8%	中国	資本財・サービス	EV用バッテリー
8 DISCOVERY	3.8%	南アフリカ	金融	南アフリカの保険会社
9 CAPITEC	3.5%	南アフリカ	金融	南アフリカの銀行
10 B3	3.4%	ブラジル	金融	大手証券取引所
上位10銘柄	57.0%	現金等	2.5%	

業種別構成比(マザーファンド)



※ 業種：MSCI世界産業分類基準の11セクター、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2026年8月末現在>

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

NOTICE

業務管理部からのお知らせ

NISA 口座の「年間投資枠」について（弊社にて NISA 口座をご利用中のお客様）

弊社にてお取引いただける NISA 口座の年間投資枠は、「成長投資枠」の 240 万円です。

年間投資枠を超えて購入注文（定期定額購入も含む）があった場合、超過分は課税口座（特定口座や一般口座）でのお取引となります。

その年の残りのご利用可能額につきましては、お取引の都度お送りいたします「取引報告書」（圧着はがき）にて、作成日現在の残り「非課税ご利用可能額」をご確認いただけます。

また、「取引残高報告書」（封書タイプ）でも、「お預り証券等の残高明細」の次項でその年の「非課税限度額」および「作成日現在のご利用額」をご確認いただけます。

NISA 口座の年間投資枠の上限に近づいている方で、年間通して NISA 口座だけでのご購入を希望される場合は、上限額を考慮していただく必要がございます。

（たとえば、定期定額購入をご利用中であれば、毎月の購入金額の変更で対応するなど）

ご不明な点がございましたら、弊社業務管理部（TEL:0263-38-0725）までお問い合わせください。

ご登録情報・ご契約内容の変更手続きについて

弊社へご登録いただいているご住所、お名前等の登録情報、毎月積み立て「定期定額購入サービス」の購入金額や引落金融機関口座等の契約内容の変更につきましては、書面によりお届けいただいております。

各届出用紙につきましては、**弊社業務管理部（TEL：0263-38-0725）へのお電話** または **弊社ホームページの「お取引について」** よりご請求ください。

《弊社ホームページからの変更用紙請求手順》

「お取引について」>「登録情報変更用紙請求」ページ

https://www.unionam.co.jp/account/regipii_input/

- ① [入力フォーム]お客様情報 をご入力
- ② [入力フォーム]手続きされる項目の書類の必要枚数、用紙送付先情報をご入力
- ③ [入力内容の確認画面へ] > 内容ご確認の上「送信」ボタン

※ 定期定額購入サービスは購入スケジュールに沿って手続きを行いますので、お申込みの時期によってはご変更内容が反映されるまでにお時間がかかる場合がございます。何卒ご了承ください。

※ 上記以外の登録情報などに関すること（特定口座、NISA 口座、マイナンバー、お届け印など）でお困りのことがございましたら、お電話または弊社 H P より弊社業務管理部までお問い合わせください。

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

RISK AND FEE

ユニオンファンドのリスク・手数料

『ユニオンファンド』のリスク

－ 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご覧ください。－

ユニオンファンドは、主に国内外の株式などに投資する投資信託証券等に投資するファンド・オブ・ファンズの形式で運用を行います。組入れる投資信託証券等は、株価変動、金利変動や債券発行者の経営・財務状況の変化等で値動きします。また、為替相場の影響を受ける投資信託証券等もあるため、ファンドの基準価額も変動し、損失を被ることがあります。したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。

当ファンドの主なリスクは、「価格変動リスク」、「為替変動リスク」、「カントリーリスク」、「信用リスク」、「流動性リスク」です。

『ユニオンファンド』の手数料等

－ 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご覧ください。－

申 込 手 数 料 お申込みにあたって弊社にお支払いただく手数料はありません。
※スポット購入時の購入用口座への振込手数料はお客様負担となります。

換 金 手 数 料 ご換金（解約）にあたって弊社にお支払いただく手数料はありません。

信 託 財 産 留 保 額 ありません。

信 託 報 酬 純資産総額に年 0.88%（税抜 年 0.8%）の率を乗じた額です。
毎日、信託財産の費用として計上され、基準価額に反映されます（基準価額は信託報酬控除後の価額です）。
[*実質的な信託報酬（概算）：純資産総額に対して年 1.8% ± 0.3%（税込）]
*実質的な信託報酬の率は、『ユニオンファンド』が投資対象とする投資信託証券にかかる信託報酬を含めたものです。あくまでも目安であり、組入状況により変動します。
※ 信託報酬にかかる税金は、税法等が改正等された場合、変更になることがあります。

そ の 他 の 費 用 上記のほか、次の手数料・費用等が信託財産の費用として計上され、基準価額に反映されます。

- ① 組入資産証券等の売買の際に発生する売買委託手数料（消費税等相当額の費用を含みます。）
- ② 信託事務の処理に要する諸費用、受託会社の立て替えた立替金の利息、監査法人から監査を受けるための費用（監査費用）（消費税等相当額を含みます。）

※ 監査費用は弊社が一部または全部を負担することがあります。

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書（交付目論見書）の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。